

安全データシート

1 化学品及び会社情報

<製品名>	: アビオン-E
<会社名>	: 株式会社アビオンコーポレーション
<住所>	: 東京都世田谷区野毛3-6-11
<担当部門>	: 管理部
<電話番号>	: 03-6432-3401
<FAX番号>	: 03-6432-3403
<緊急連絡先>	: 福岡工場（電話番号：0943-25-1500）

2 危険有害性の要約



<GHS分類>	: 急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	特定標的臓器／全身毒性（単回曝露）	区分3（気道刺激性）
	水生環境急性有害性	区分外
	※記載がないものは「分類対象外」又は「分類できない」	
<注意書き>		
危険性	: 呼吸器への刺激のおそれ。	
安全対策	: 使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。 指定された個人用保護具を使用すること。	
応急処置	: 曝露または曝露の懸念がある場合、医師の診断、手当てをうけること。	
廃棄	: 内容物、容器を都道府県知事／市町村の規則に従って、適切に廃棄すること。	

3 組成及び成分情報

<単一製品・混合物の区別> : 混合物

<当該製品の一般名称> : 展着剤

<成分、及び含有量>

[有効成分]

化学名又は一般名 : パラフィン

分子式 (分子量) : C_nH_{2n+2}

官報公示整理番号 : (8)-414

CAS 番号 : 8002-74-2

濃度又は濃度範囲 : 24%

[その他の成分]

化学名又は一般名 : 水及び乳化剤等

分子式 (分子量) : —

官報公示整理番号 : —

CAS 番号 : —

濃度又は濃度範囲 : 76%

4 応急措置

<吸入した場合> : 速やかに空気の新鮮な場所に移し、安静を保ち、呼吸を楽にさせる。身体に異変を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受ける。

<皮膚に付着した場合> : 直ちに汚染された衣服や靴などを脱がせ、付着部または接触部を大量の水と石鹼で皮膚を洗浄する。皮膚に異常がある場合は直ちに医師の手当てを受ける。

<目に入った場合> : 直ちに多量の流水で十分に洗眼し、眼科医の手当てを受ける。

<飲み込んだ場合> : 吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。

5 火災時の措置

<適切な消火剤> : 粉末消火剤、炭酸ガス、泡等。

<消火方法> : 呼吸装置を着用し、風上から行う。

<使ってはならない消火剤> : 棒状放水 (本品があふれ出し、火災を拡大するおそれがある。)

<特有の危険有害性> : 火災によって刺激性又は毒性のガスを発生させるおそれがある。

6 漏出時の措置

<人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 >

: 漏洩エリア内に立ち入る時は保護具を着用する。
密閉された場所に立ち入る時は、事前に換気を行う。

<環境に対する注意事項> : 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。

<封じ込め及び浄化方法及び機材等>

: 回収後の少量の残留分は土砂又はおがくず等に吸収させる。漏出物を直接河川や下水に流してはならない。

7 取扱い及び保管上の注意

<取扱い上の注意事項>

: ラベルをよく読み、記載以外に使用しない。
幼児の手の届くところには置かない。
容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加えるなどの取り扱いをしてはならない。
眼、皮膚、衣服に付けないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

<保管上の注意事項>

: 直射日光を避け、なるべく冷涼な場所に密栓して保管する。凍結すると物理性の劣化により使用できなくなるので、氷点下の所には保管しない。

<混合接触させてはならない化学物質>

: 強酸化剤。

8 ばく露防止及び保護措置

<ばく露防止>

許容濃度（曝露限界値、生物学的曝露指標）

: 設定されていない。

<保護措置>

保護具

呼吸器の保護具 : 適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具 : 適切な不浸透性手袋を着用すること。
眼の保護具 : 適切なゴーグル型保護メガネを着用すること。
皮膚及び身体の保護具 : 適切な不浸透性作業衣を着用すること。

9 物理的及び化学的性質

外観等	: 白色粘稠乳濁液。
pH	: 7.9 (原液)
比重	: 0.99 (20°C)

10 安定性及び反応性

<安定性>	: 通常の条件下では安定。
<反応性>	: 通常の条件下では安定。
<混触危険物質>	: 強酸化剤。
<危険有害な分解生成物>	: 一酸化炭素、二酸化炭素。

11 有害性情報

<急性毒性>	: ラット経口 LD ₅₀ >2000mg/kg に基づき、区分外とした。 ラット経皮 LD ₅₀ >2000mg/kg に基づき、区分外とした。
<刺激性>	: 皮膚: 僅かな刺激があるものの分類の必要はない。 眼: 僅かな刺激があるものの分類の必要はない。
<皮膚感作性>	: マウスを用いた皮膚感作性試験結果より区分外とした。
<特定標的臓器/全身毒性>	: (単回曝露) 区分3 (気道刺激性) に分類されるパラフィンを20%以上含むことから区分3 (気道刺激性) とした。

12 環境影響情報

<水棲生物毒性>	: ゼブラダニオ LC ₅₀ (96 時間) >100mg/L オオミジンコ EC ₅₀ (48 時間) >100mg/L 藻類 EC ₅₀ (0-72 時間) >100mg/L よって区分外とした。
----------	--

13 廃棄上の注意

<安全で環境上望ましい廃棄の方法>	: 使用後に残った農薬及び使用済み容器に付着した農薬は 河川、用水路、下水等の水系に廃棄しない。空容器等は 圃場に放置せず、関係法令を厳守し、廃棄物処理業者に 処理を委託する等により適切に行う。
-------------------	--

14 輸送上の注意

＜輸送に関する国際規制によるコード及び分類＞

：国連分類 該当しない。

包装、容器が破損しないよう、水漏れや乱暴な取扱いは避ける。

15 適用法令

＜農薬取締法＞ 登録番号 第 12058 号

＜労働安全衛生法＞ パラフィン 政令第 170 号

＜消防法＞ パラフィン 指定可燃物

＜水質汚濁防止法＞ パラフィン 油分排出規制

＜海洋汚染防止法＞ パラフィン 油分排出規制

＜下水道法＞ パラフィン 鉱油類排出規制

16 その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものであつて、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は提供情報であつて、保証するものではありません。
